

萩原メリヤス 株式会社

ものづくり技術

唯一無二、オリジナリティに優れた生地を開発 こだわりのある顧客に訴求していくニット生地メーカー

事業内容 高級品向けの生地製造にシフト 要望に合わせた特注対応できることが強み

1955年(昭和30年)にメリヤス生地(肌着やスウェットシャツなどに使用される伸縮性のある生地)の製造を目的に個人創業して以来、60年あまりの業歴を有する。

現在も編立生地の製造・販売を主業としており、具体的には2つの事業に大別される。1つは、メーカーから指定された資材を用いて加工を施した生機(布生地の染加工する前の布生地)を出荷する。もう1つは独自に仕入れた綿糸を編み上げて風合いや外観を整えるなど、染色整理を行ったものを商社・アパレルメーカーに販売する事業である。

1998年頃までは、量販用生地の製造も行っていたが、安価な中国製の生地が台頭してきたことから上代の高い綿糸を用いた高級品向けの生地製造にシフトしてきた経緯がある。現在は、フランスやイタリアなどの有名ブランドのTシャツやスウェットなどに使用される生地の製造を任されている。他社では対応が難しい生地の固さ指定や風合いなどをすべてオーダーメイドで仕上げるができる点が、トップファッションブランドである顧客から高く評価されている。

補助事業 独自設計の編機と自動裁断機の導入で 要求水準の高い顧客に対応

同社はこれまで、「他社が既に手掛けているものではなく、自社開発品を自社発信していく」という方針で事業運営を行ってきた。販売製品が浸透するのに時間を要するかもしれないが、新たな市場を創造するという考えのもとで生地の開発を進めている。低価格品を求める声に応えることも必要であるが、身につけるものにこだわりを持つ人の要望に応じていきたいと同社は考えている。

このような方針の中で、ジャガード裏毛編機(模様の複雑さ、大きさにかかわらず織柄を織ることができる編機)を用いたジャガード裏毛編み生地を独自開発した。この生地は、同業他社は扱っておらず、独創性に優れた生地です顧客からも評価が得られていた。

しかしながら、要求がハイレベルである同社の顧客からは、ジャガード裏毛編み生地の種類(柄や編み密度)を今よ

り幅広くしてほしいという要望や、裁断(パーツ)生地を迅速に提供してほしいという要望が聞かれた。

そこで、今回の補助事業では、編機ならびに自動裁断機を購入し、独創性のある生地の開発及びパーツ裁断の効率化を進めることで顧客満足度の向上を図った。



▲自動裁断機

萩原メリヤス 株式会社

代表取締役 萩原 朗史
〒640-8313 和歌山市西688
TEL: 073-471-1335 FAX: 073-471-1344
URL: http://www.hagihara-meriyas.com

(業種)丸編ニット生地製造業
(設立)1955年9月
(資本金)14,000千円
(従業員)7人

成果

市場にない生地パターンが製造可能に 生産工程も合理化された

新たに高密度ジャガード編み生地に対応できる新ジャガード裏毛編機を独自設計し、機器メーカーの協力の下、編機の開発を行った。また、編み生地のデザインに合わせて裁断(パーツ化)するために、カメラとプロジェクタ付き裁断機も導入した。

新ジャガード裏毛編機は針交換など手を加えた甲斐もあり、従来なかったポジションで編むことができるようになった。裁断については、カメラ付き機能を利用して複雑なカーブの裁断にも成功した。当初の計画通り、現市場にない柄パターンや細かい網目のジャガード裏毛編み生地を製造することが可能となり、同社にとって大きな成果である。

今回開発・製造販売を行ったジャガード裏毛編み生地は、顧客からもまずまずの評価が得られている。ジャガード

裏毛編み生地にキャラクターをプリントしたスタイ(よだれかけ)やポーチの出荷も始まっている。従来よりも工程数が少なく、効率的に製品を製造できるようになったことから注文の増加への対応も可能である。



▲ジャガード裏毛編み機

今後の展開

海外の展示会でも積極的にアピール 自社ブランドも立ち上げ、市場拡大へ

市場にない柄パターンや細かい網目が表現できるジャガード裏毛編み生地を使うことによって、ブランド品メーカーは、他社が模倣の難しい製品を作り上げることができる。この点を強みとして、既存顧客である各ブランドに対して提案営業を進めていきたいと考えている。海外の展示会においても他社が真似できない風合いや柄を積極的にアピールすることにより、一癖あるニーズを掴んでいく。

さらに、本事業で成果の得られたジャガード裏毛編み生

地を用いた自社ブランド「WORTHINESS CLOTHING=価値ある衣服」を立ち上げた。品質にこだわり、着心地が良く、長く愛用できるモダンでベーシックなアパレル衣料製品をセレクトショップなどで販売していく予定である。

製品の素材や編立等にこだわりを持っている顧客に自社の生地や製品の良さを積極的に訴求し、新たな市場を創っていく。



▲ジャガード裏毛生地を使った、製品



▲展示会風景